

高川山&三方分山山行報告

【山行日】2025年 5月 10~11日(土日)

【集 合】岩舟支所 P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 11,500円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL:大西
植竹、関、根本、松葉、渡邊

【コースタイム】10日:岩舟支所 P6:00=リニア見学センター
—P8:55/10:50~ガスト 11:30/12:10~林道 P12:45~
富士風穴 13:05/13:20~本栖風穴 13:50/14:00~
林道 P14:25~東海道自然歩道入口 14:30~竜宮洞
穴 14:45/15:00~東海道自然歩道入口 15:15=カトリア荘 15:20



9時前に着いたがすでに十数台車が止まっており、人気の見学施設なのだなと思った。駐車場から案内標識に従って数分歩くと「どきどきリニア館」に着き、入館券420円を購入し見学できる。まず1階は「学ぶ」がテーマのスペースになっており、リニア開発の歴史やリニアモーターカーの仕組みなどを学べるフロアになっている。続いて2階に上がると体験フロアになっていて、ミニリニアカーに乗って、電磁浮上走行を楽しめる。

ここが一番の人気コーナーで、家族連れの子供

たちが並んでいたが、我々も列の後ろに並んで待つ。わずか15mほどの走行距離だが、皆さん楽しそうに笑顔で乗っていた。今日はリニアモーターカーの試験走行日なので、リニアモーターカーが近づくとアナウンスがあり、皆さんが展望テラスに移動してリニアモーターカーの試験走行を見学する。あと何秒で通過しますとアナウンスがあり、遠くに見えたと2~3秒で通過し時速500Kmの速さを実感できる。3階は「見る」がテーマのフロアになっていて、山梨を走るリニアのジオラマがあり、町の中を走る鉄道やリニア試験車が走る様子が再現されている。

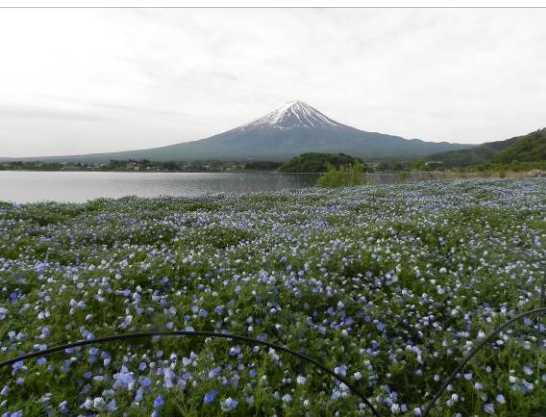


一通り見学したら隣にあるやまなし館に寄り、こちらには山梨県の物産やリニアグッズが販売されている。駐車場まで戻り、車に乗って西湖カトレアに向かう。途中、道の駅「つる」に寄り、休憩スペースでティータイム。O嬢が持参したコーヒーと手作りチーズケーキを美味しくいただいた。ここから河口湖町のガストに移動し、ランチをいただいた。雨の心配は無くなったので「青木ヶ原樹海を歩いて、富士風穴に行きますか？」と聞くと、「行きたい！」との返事で青木ヶ原樹海に向かった。国道139号線に出て西湖に向かって進み、ひばりが丘の信号を左折し5Km程走ると精進湖口登山道と交差する。ここに数台分の駐車スペースがあり、丁度1台出る車が有って止めるこ



とが出来た。ここから青木ヶ原樹海の中に付けられた登山道を歩き、皆さん「これが青木ヶ原樹海なんだ～、迷ったら出られなくなるね」と楽しそう。10分程緩やかに登り、国の天然記念物「富士風穴」の標識が立つ場所に着く。ここから登山道を外れ踏み跡を辿ると、溶岩が大きくくぼんだ富士風穴に着く。窪地の中に降りると大きな洞窟があり、ここは事前に富士河口湖町に入洞届を出し許可された者しか入れない。ほとんどの人はガイドの案内で、ヘルメットやハーネスの装備を付け入洞するようだ。我々は洞窟の入口まで降り、中を覗き込むだけで引き返した。駐車地まで戻り反対側の本栖風穴に向かった。樹海の中に付けられた踏み跡を20分ほど歩くと本栖風穴の案内板があり、立ち入り禁止の看板が立ち針金で囲われている。周りの溶岩を1周し、上から眺めるだけで駐車場所まで戻った。ここから西湖カトレアに向かったが、竜宮洞穴も見たいと言うので入口に車を止め歩いて行く。ここは近くまで車で入ることが出来、女性2人の観光客が車で来ていた。

ここは「富士講八海巡り第五霊場」が祭っており、洞窟の入り口には社が建っている。車まで戻りカトレア荘までは1分も掛からず到着する。女将さんと挨拶を交わし、いつもの部屋に案内される。落ち着いたら風呂に順番に入り、皆さんが風呂から上がったら宴会が始まる。今回は我々だけの貸切なので、食堂を使用してもらった。八海山大吟醸をいただきながら楽しく宴会が進み、隣のテーブルに夕食の用意が出来たら移動し夕食をいただく。いつもの御馳走が並び、お腹いっぱい食べたら部屋に戻り床に就いた。



部屋に戻り床に就いた。

**11 日:カトレア荘 8:00＝精進湖 P8:20/8:30～登山口
P8:35/8:45～女坂峠 9:30/9:40～三方分山
10:30/10:45～展望ポイント 11:30～偉主山 12:15/12:45
～パノラマ台 13:05/13:25～パノラマ台入口 14:15＝岩
舟支所 P17:35**

朝5:00に起きて毎回恒例の早朝散歩に向かう為、

髭をそって顔を洗い出発の準備をする。6時にカトレア荘を出発し、河口湖北岸の大石公園に向かう。

今日は朝から晴天の予報で、西湖畔を走る時から富士山が見え歓声が上がる。

大石公園に着くと車が多く止まっていたが、前回のように満車ではなく止めることが出来た。

ネモフィラの花が丁度見頃で、多くの観光客がカメラやスマホに撮っていた。我々も写真を撮りなが



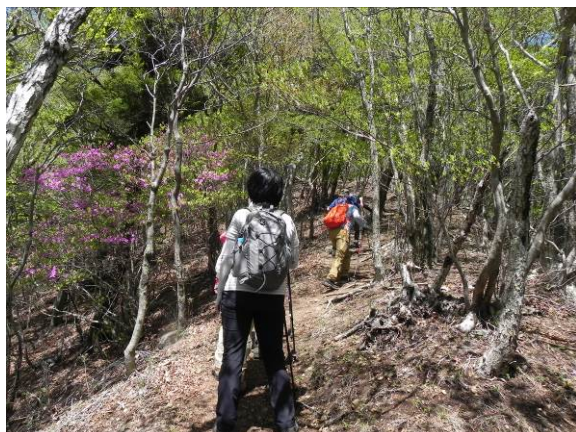
ら公園内を散策し、一番奥のネモフィラ畑まで歩いて行く。富士山をバックに記念写真を撮り、お花を楽しんだら車に乗りカトレア荘に戻る。7時にカトレア荘に着くと朝食の用意が出来ており、いつもの美味しい朝食をお腹いっぱいいただいた。出発の準備を整え、女将にお礼を言ったら車に乗り精進湖に向かう。精進湖の県営駐車場でトイレを済ませ、女坂峠への登山口がある湖畔の駐車場に車を止める。ストレッチを行なったら出発し、道路を渡って沢沿いの舗装

道路を登って行く。女坂峠までは駿河と甲斐を結んだ古道で、中道往還道と呼ばれる重要な道である。沢沿いの民家の間を抜けると山道になり、堰堤を3つばかり巻いて登って行く。やがて道は谷を離れ、尾根を目指して右の斜面を登って行く。明るい自然林の道に変わり、まもなく標識が立つ女坂

峠に着く。ここまで皆さん頑張って登り、コースタイム通りの時間で登って来た。小休止して衣服調整と水分補給を行い、左に向かって御坂山塊の西端に向かって稜線を進む。自然林の明るい稜線歩きは爽快で、芽吹いたばかりの新緑が輝いている。木々の間から富士山が望め、トウゴクミツバツツジの紫の花がとても美しい。最低鞍部まで下ると三方分山への登りが始まり、急傾斜の登山道をゆっくり登って行く。ブナが目立つようになると傾斜が緩み、やがて細長い山頂の東



端に登り着く。ここから平坦な笹の道を歩き、山頂標識が立つ三方分山山頂に着く。木々に囲まれて落ち着いた雰囲気山頂だが、南側だけ展望が開け富士山の絶好の展望台である。展望が良



い場所は女性2人がお茶を楽しんでいたが、我々が近づくと場所を譲ってくれた。丸太のベンチに腰を下ろし、菓子をいただきながら富士山の展望を楽しんだ。ここからは南西に延びる稜線を進み、パノラマ台を目指して歩いて行く。一旦下ってから登り返すと精進山で、三角点が置かれている。ここから岩交じりの急峻な下りになり、滑らぬように慎重に足を進める。鞍部まで下った所が精進峠で、先行したグループが悩んでいた。三方分山で展望の良い場所を譲ってくれた女性達のグループ

で、何やら目的の場所が分からない様子。何処に行きたいのか聞くと、「SNSに上がっていた富士山のビューポイントを探している」との事。「それなら来過ぎたので少し戻り、右に踏み跡があるのでそこを進めば目的地だよ」と教えてあげ、我々はパノラマ台に向かって登って行く。

細かいアップダウンが連続し、皆さんの足にも疲れが出てペースが遅くなる。右側の樹間に南アル



プスの山並みが見え、皆さんから歓声が上がる。ヤマツブにアルプス展望台と有るので、右側のピークに登ったが良く見えなかった。パノラマ台まで行ってランチの予定だったが、皆さんが疲れた様子なので、1305mのピークでランチタイムとする。山頂の木に「偉主山」と札が掛けられていた。木陰でそれぞれが買ってきたランチをいただき、疲れが回復したらパノラマ台へ向かう。ここから一旦根子峠まで下り、そこからは緩やかに登って行くがペースが上がらない。途中で「後からゆっくり行く

から」と言うので「後3分くらいだから頑張れ」と励ましてパノラマ台に到着した。ここからの展望は素晴らしく、皆さん笑顔で疲れも吹き飛んだ様子。

富士山や御坂山塊は言うに及ばず、八ヶ岳や奥秩父、南アルプスまで一望できる指折りの展望台である。記念写真を撮ったらそれぞれがスマホに収め、展望を存分に楽しんだら下山開始する。根子峠まで下ったら右に精進湖に向かって下るが、ここから我輩が先行して下って車を下山口まで回す。車を回収してパノラマ台下バス停に着くと、間もなく皆さんが降りてきた。車に乗ったら県営駐車場まで行き、靴を履き替えトイレを済ませたら帰路に着く。往路を戻り中央道小仏トンネルまで渋滞があったがそれほど酷くなく、30分遅れて岩舟支所に帰着した。

